



# 森と水の源流館 だより

September, 2010 vol.93

電話) 52-0888 fax) 52-0388 (水曜休館)

## 残しておきたい川上村の山言葉 其の九「のぼしぎり」

意味: 山の傾斜<sup>けいしや</sup>に沿って、穂先<sup>ほさき</sup>を上の方にたおすこと。杉はシブ抜き、色出しのため  
にできるだけ“のぼしぎり”をする。(対義語: さかぎり)

※川上村の方言の意味や使い方などについてのご意見をお待ちしております。

企画展

とうちゅうかそう

# 冬虫夏草アート展



9月10日(金)~12月7日(火)



「武士」 中谷佳詩子作

冬虫夏草とは虫に発生する菌類(キノコ)のことです。キノコは水分が多いため普通は押し葉標本にはできません。高取町在住の中谷佳詩子さんは、工夫を重ねてそれを可能にし、まったく新しいアートの世界を開きました。中谷さんの作品を通じて、キノコをアートとして楽しんでください。そして、自然からのメッセージを感じてください。

### 作者紹介

なかたに よしこ  
中谷 佳詩子

家業でのキノコ栽培のかたわら、キノコ採集を趣味とし、特に虫から発生する「冬虫夏草」というグループの採集・研究を行う。

還暦を契機にキノコを額に保存する方法を「押葎(こうじん)」と名付け、多くの作品を制作。現在、キノコの他、様々な植物、地衣類やコケを使い「標本から妖精へ」をキーワードに創作活動を続ける。高取町在住。

- 9:00~17:00 ●水曜休館
- 要入館料 一般 400円 / 小・中学生 200円

### 源流学の森づくり

●9/25(土) 9:00-17:00 ●定員: 15名 小学5年生~  
●参加費: 大人 1,500円 / 小中高 1,000円 ●今回は一般の方も体験参加できます

### 第20回いろりばた教室「柿の葉寿司教室」

●9/26(日) 10:00-15:30 ●定員: 20名 小学生~  
●参加費: 2,100円

### もりみず探検隊「後南朝と木地屋の里を歩く」

●10/10(日) 9:30-16:30 ●定員 20名 ●小学生~  
●大人 4,000(2,800)円 / 小中高 2,000(1,000)円

※お申込み・お問い合わせは、森と水の源流館まで

※( )内の料金は源流人会会員割引価格

※小学生以下の参加は保護者の参加も必要

まだ間に合うイベント案内▶

## 8/7・8 吉野川紀の川しらべ隊

蜻蛉の滝周辺で、7日は昆虫生態写真家、伊藤ふくおさんを講師に夏の虫観察会を、8日は遊水フェスタでナイトスクープでおなじみ谷幸三さんを講師に水生昆虫観察会を行い盛況でした。



ジャコウアゲハをとった  
どー！



谷幸三さんからは楽しいお  
話で解説してもらいました

## 8/25 シンポジウム“水源地の村”からの提言

恒例となったシンポジウム、今年は「朱雀（南）に学ぶ自然との共生」と題し、橿原市商工経済会館で開催しました。菅谷文則氏（奈良県立橿原考古学研究所所長）の基調講演の後、柏木地区をフィールドに実習を展開する神戸夙川学院大学の事例報告などがありました



講演に熱弁をふるわれる菅  
谷氏



柏木地区での体験報告をする河  
本大地氏（神戸夙川学院大学）

## 夏休みの体験プログラム盛況でした

夏休みには、当館に関わる多様な主体のみなさんのご協力で作など、いろいろな体験プログラムを行うことができました。参加者のみなさんが大事そうに作品を持って帰る姿を見るととてもうれしく思います。来年もできたらいいなと思いますので、「こんなのしたい！」という希望などありましたらスタッフまでお気軽におたずね下さい。



川上村の工作達人に教わる木  
の実などを使った工作。



紀伊風土記の丘（和歌山市）か  
らは「まが玉」づくりに来てい  
ただきました



ヒノキの風鈴づくり。



石の標本づくりでは、川上村の  
地質の解説付きでした。